

水道事業のあらまし

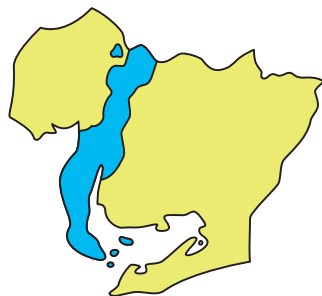
●愛知県水道用水供給事業

水道の広域化を指向する、愛知地域広域的な水道整備計画が1980年度に策定されたことに伴い、この計画の一環として、1981年度から愛知県水道用水供給事業を実施することになりました。

この事業は、水道用水の安定供給体制の増強を目的として、従来の4水道用水供給事業を統合したものです。

〈事業の概要〉

1. 給水対象 31市7町1広域事務組合3企業団(49市町村)
2. 計画一日最大給水量 1,740,000m³



●愛知用水地域

尾張東部丘陵地帯から知多半島一帯を対象に水道用水を供給するため、愛知用水事業の一環として1957年に着手し、1962年1月から1日最大給水量約54千m³の施設能力で給水を開始しました。

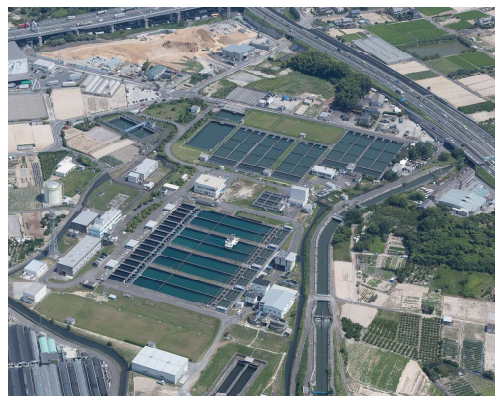
その後、1962年度～1965年度の第1期拡張事業、1965年度～1971年度の第2期拡張事業及び1972年度～1980年度の第3期拡張事業により、1日給水能力は499千m³となりました。



尾張東部浄水場 (2018年8月撮影)

さらに、同地域の人口増加等による水需要の増加に対処するため、1993年度には尾張東部浄水場の給水を開始し、現在では、牧尾ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、長良川河口堰を水源として、1日約685千m³の給水能力を有するまでになりました。

今後も施設整備を引き続き行い、完成時には、1日給水能力を約691千m³とする予定です。



上野浄水場 (2018年8月撮影)

●尾張地域

木曾川とともに発展してきた尾張地域は、豊富な地下水に恵まれ、従来、生活水の大部分をこの地下水によって賄ってきました。

しかしながら、急速な都市化の進展に伴う地下水の過剰揚水、井戸の乱掘等が災いして、水位の低下や水質の悪化を招いています。

このため県では、尾張水道用水供給事業を実施する



こととし、1969年から専用施設の建設に着手して、1973年度に犬山浄水場から一部給水を開始しました。

1985年度には尾張西部浄水場の給水を開始し、現在では岩屋ダムを水源として1日の給水能力は、約513千m³となりました。今後も施設整備を引き続き行い、完成時には、約636千m³となる予定です。



犬山浄水場 (2020年9月撮影)



尾張西部浄水場 (2018年8月撮影)

名称	所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水対象
愛知用水水道事務所	上野浄水場 〒476-0002 東海市名和町藤山7 TEL (052) 604-4132	m ³ /日 164,100	m ³ /日 164,100	半田市、刈谷市、常滑市、東海市、大府市、知多市、高浜市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、愛知中部水道企業団(豊明市)
	知多浄水場 〒478-0015 知多市佐布里字西池之脇8 TEL (0562) 55-3501	206,300	211,800	
	小計	370,400	375,900	
尾張旭出張所	高蔵寺浄水場 〒487-0032 春日井市高森台1-10 TEL (0568) 91-3902	94,300	94,300	瀬戸市、春日井市、尾張旭市、愛知中部水道企業団(日進市、長久手市、東郷町)
	尾張東部浄水場 〒470-0111 日進市米野木町南山489番4 TEL (0561) 74-3071	220,300	220,300	
	小計	314,600	314,600	
計		685,000	690,500	10市、5町、1企業団

名称	所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水対象
尾張水道事務所	犬山浄水場 〒484-0081 犬山市大字犬山字東洞15 TEL (0568) 61-5077	m ³ /日 344,300	m ³ /日 371,600	一宮市、春日井市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、あま市、蟹江町、北名古屋水道企業団(北名古屋、豊山町)、丹羽広域事務組合(大口町、扶桑町)、海部南部水道企業団(愛西市、弥富市、飛鳥村)
	尾張西部浄水場 〒495-0001 稲沢市祖父江町祖父江字柳原86 TEL (0587) 97-1176	169,000	264,100	
計		513,300	635,700	11市、1町、1広域事務組合、2企業団